

学びを楽しむ科学絵本

いろいろな生物とその共通点

『ボタニカム ようこそ、植物の博物館へ』

キャシー・ウィリス作 ケイティー・スコット絵 汐文社

小さい植物から高さ 80m の世界一の巨木まで、世界の

植物界を探検できる博物館。画集のような美しさです。

『根っこのえほん』全 5 巻 根研究学会協力 大月書店

植物の根っこを様々な種類にわけて紹介。植物が生きる理由が
わかります。



『もし地球に植物がなかったら？』きねふちなつみ作

あすなろ書房

植物の視点から地球の歴史をふりかえると動物の視点とは異なる
生命の歴史がみえてきます。

『そだててあそぼう』シリーズ 農山漁村文化協会

さまざまな植物や作物を一から育てると...？ 1冊で1つの作物
を取り上げる栽培絵本です。

『じめんのうえとじめんのした』ア・マ・E・ウエバ-文・絵

福音館書店

動物や植物が地面の上と下を使い分けて生活しているようすを
描いています。

身のまわりの物質 光・音・力による現象

『ネコ博士が語る科学のふしぎ』ドミニク・ウォーリマン文
ベン・ニューマン絵 徳間書店

もののなりたちやものの動きに決まった法則があるのは？物理
や科学の法則をネコ博士がわかりやすく紹介。

『ひとしずくの水』ウォルター・ウィック作 あすなろ書房
一滴の水がコップに落ちるまでの間、どんな形の変化があるで
しょう。写真で追いかけます。



『こおり』前野紀一文 斎藤俊行絵 福音館書店
インクを入れた色水を凍らせてみるとどんな色になるかな？
氷には何でも押し出す小さな力があります。

『みずとはなんじゃ？』かこさとし文 鈴木まもる絵
小峰書店
暮らしの中で出会う水を通して水の性質を知る絵本。
著者・かこさとしさん最後の絵本です。

『まほうのコップ』川島敏生写真 長谷川摂子文
福音館書店
コップに水を入れてそこからものを見てみると…？
水の性質がわかる写真絵本です。

※紹介した本は野々市市内の小・中学校図書館および市立図書館所蔵です。

活きている地球

『モグラはかせの地震たんけん』松岡達英作・絵

ポプラ社

モグラはかせが地面の下のへんてこな研究所で地震について
子どもたちにわかりやすく解説します。

『富士山大ばくはつ』かこさとし作 小峰書店

日本を代表する山・富士山は何度も爆発を繰り返しながら現在の山になりました。



『あるくやま うごくやま』かこさとし作 宮下森絵

童心社

大地の大きさや強さ、そこから緑が作り出されることを
わかりやすく伝える絵本です。

『知っておきたい！地球のしくみ』

ジョン・ファーンドン著 ティム・ハッチンソン絵 東京書籍

地球の動きや地震のしくみ、火山の噴火のことが絵で
よくわかるイラスト図鑑。

『地球について知っておくべき 100 のこと』

竹内薫訳・監修 小学館

火山や砂漠など地球のあらゆるデータをイラストで

わかりやすく解説しています。

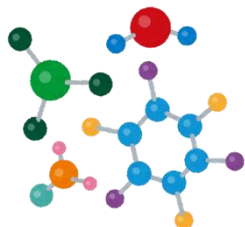
※紹介した本は野々市市内の小・中学校図書館および市立図書館所蔵です。

学びを楽しむ科学絵本

化学変化と原子・分子

『ネコ博士が語る科学のふしぎ』ドミニク・ウォーリマン文
ベン・ニューマン絵 徳間書店
もののなりたちやものの動きに決まった法則があるのは？物理
や科学の法則をネコ博士がわかりやすく紹介。

『あまいみず からいみず』
かこさとし作・和歌山静子絵 童心社
コップに水を入れて塩・さとうを溶かす実験から
海の水の謎を解き明かす絵本です。



『世界の化学者 12 か月』かこさとし作 偕成社
元素を見つけた化学者や出来事をゆかりのある月ごとに紹介し
ています。化学好きになるヒントもあります。

『世界で一番美しい元素図鑑』セオドア・グレイ著
創元社
元素の要素とその使い道を美しい写真で伝えます。元素が
身近に使われていることにも気づかされます。

『目で見える化学』ロバート・ウィンストン著
さ・え・ら書房
身近な物質がどんな元素でできているか、写真と絵で見て
いきます。元素はどのように役立つのでしょうか。

生物の体のつくりとはたらき

『絵ときゾウの時間とネズミの時間』

本川達雄著 あべ弘士絵 福音館書店

大きなゾウと小さなネズミが一生に打つ心臓の回数から動物の生き方が見えてきます。

『ライフタイム いきものたちの一生と数字』

ローラ・M・シェーファー作 ポプラ社

生きものたちの一生にかかわるかくされた数字から驚きの数の世界が見えてきます。



『ネコ博士が語る体のふしぎ』 ドミニク・ウォーリマン文

ベン・ニューマン絵 徳間書店

体をつくる40兆の細胞の話そして体の役割としくみをネコ博士が案内します。

『ながいながい骨の旅』 松田素子文 川上和生絵 講談社

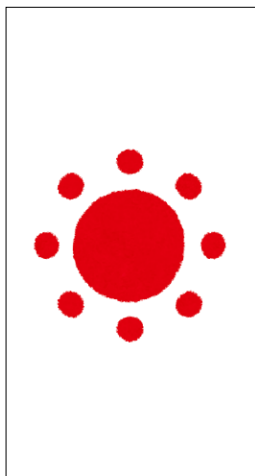
生きものの進化と、進化に伴う骨の役割の変化がわかる絵本。皆さんを生命の旅へといざないます。

『ホネホネたんけんたい』 松田素子文 大西成明絵

アリス館

生きもののホネを集めた写真絵本。ホネの役割や生きものの形がよくわかります。

地球の大気と天気の変化



『くもとそらのえほん』 五十嵐美和子作・絵

PHP 研究所

入道雲、綿雲、雷雲…いろいろな雲の種類をゆったりとした流れで紹介しています。

『はじめてのてんきえほん』 てづかあけみ絵

パイインターナショナル

空のふしぎや天気図の見方、天気の変化をやさしく紹介。大人も子どもも一緒に楽しめます。

『あしたのてんきははれ？くもり？あめ？』 野坂勇作

福音館書店

夕方雲の形や動き、夕焼けや生きものの様子は明日の天気を予想する手掛かりになります。

『天気ふしぎえほん』 斎田季実治監修 PHP 研究所

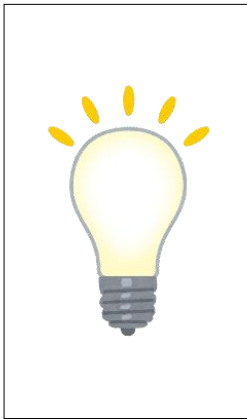
天気のみつや異常気象のなぞについて、イラストと優しい回答で紹介します。

『雲のカatalog』 村井昭夫(ほか)文と写真 草思社

雲の写真と学術的名称を 100 近くの分類に分けて写真で紹介。空で起こる現象の解説もあります。

※紹介した本は野々市市内の小・中学校図書館および市立図書館所蔵です。

電流とその利用



『わたしの ひかり』モリー・バング作 評論社

電気のできるしくみや、電気の大切さを太陽がわかりやすく伝える科学絵本です。

『でんとうが つくまで』加古里子文・絵 福音館書店

水力発電で電気が作られ、電灯がつくまでの流れをわかりやすく説明しています。

『でんきのビリビリ』こしだミカさく・え そうえん社

家の中には電気が使うものがたくさんあります。停電から気が付くことを絵本で表現しています。

『風くんと電気ちゃんの大ぼうけん』

齊藤道子文 林幸絵 ポプラ社

風のこどもの風くんが風車のしくみや、そこから生まれる電気の話します。

『どうやって作るの？パンから電気まで』

オールドレン・ワトソン作 偕成社

様々な物は人の手や機械によって作られる様子を描く絵本。電気ができる仕組みも載っています。

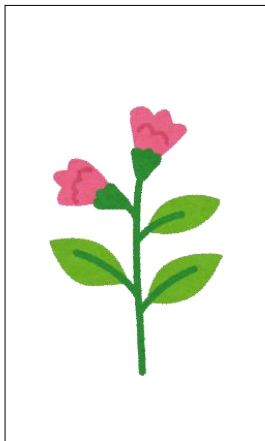
※紹介した本は野々市市内の小・中学校図書館および市立図書館所蔵です。

学びを楽しむ科学絵本

生命の連続性

『目で見える進化』ロバート・ウィンストン著 さ・え・ら書房
ダーウィンの進化論以降の進化説の発展を写真や絵で紹介。DNA やメンデルの法則も紹介されています。

『ネコもよう図鑑』浅羽宏著 化学同人
ネコの体の模様は遺伝によって決まります。模様のパターンを11通りに分類し、遺伝のしくみを解説します。



『日本のスゴイ科学者』日本科学未来館編著
朝日学生新聞社
各分野で優れた業績を残した日本人科学者を紹介。生物学分野では主に DNA・遺伝の研究が紹介されています。

『たねから めがでて』かこさとし著 若山憲絵 童心社
種から成長する草木の様子と育った花や実から植物のライフサイクルを知ることができます。

『赤ちゃんのはなし』
マリー・ホール・エッツさく・え 福音館書店
おなかの中の赤ちゃんの成長をあたたかい挿絵で描きます。40年近く読み継がれている絵本です。

化学変化とイオン

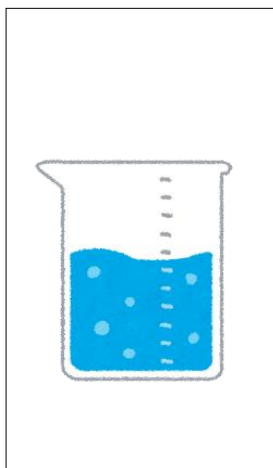
『目で見る化学』ロバート・ウィンストン著

さ・え・ら書房

身近な物質がどんな元素でできているか、写真と絵で見えていきます。元素はどのように役立つのでしょうか。

『石灰石のふしぎな変身』板倉聖宣著 小峰書店

セメント肥料の原料になる石灰石は燃やすと固まりになり、水がかかると粉になります。



『ごむのじっけん』加古里子作 福音館書店

実験を通してゴムのもつ「くせ」をさがります。そこから性質や変化、多様な用途を知ることができます。

『世界で一番美しい分子図鑑』セオドア・グレイ著 創元社

たくさんの化学構造から美しいものを写真で紹介。原子同士が結合して分子や化合物を作る様子もわかります。

『世界で一番美しい化学反応図鑑』セオドア・グレイ著

創元社

化学反応の重要な概念や燃焼、爆発、光合成などさまざまな化学反応を美しい写真で解説しています。

※紹介した本は野々市市内の小・中学校図書館および市立図書館所蔵です。

運動とエネルギー

『目で見える物理』リチャード・ハモンド著 さ・え・ら書房
物理学の進歩、ものの動きその速さの法則をあっと驚く写真や図で紹介しています。

『風の島へようこそ』アラン・ドラモンド作 福音館書店
デンマークの島での暮らしのために使うエネルギーを島で作る計画の物語。



『エネルギーってなんだろう』
キンバリー・ブルバ イカー・ブラッドリー作 ポール・マイケル絵 福音館書店
エネルギーはどこから生み出されるか？そしてどこで役立つか？エネルギーの「なるほど」に迫ります。

『よわいかみ つよいかたち』かこさとし作・絵 童心社
紙は切ったり折ったりすることで支えることで強くなります。
力学の原理を教える絵本です。

『いきている ひかり』
モリー・バング&ペニー・チザム作 評論社
『わたしの ひかり』姉妹編。ぐるぐるめぐるいのちのエネルギーについて考える絵本です。

宇宙を観る



『ネコ博士が語る宇宙のふしぎ』ドミニク・ウォーリマン文
ベン・ニューマン絵 徳間書店

地球や太陽系の惑星、恒星、四季の星座などの宇宙のしくみを
ネコ博士が案内します。

『星座を見つけよう』H.A.レイ作 福音館書店

『おさるのジョージ』の作者・レイによる星座の絵本。星の動き
から季節がわかります。

『宇宙探検えほん』宇宙航空開発研究機構協力 小学館

宇宙の謎を解き明かすために世界各国が行った宇宙探検とこれ
からをイラストと絵で紹介します。

『宇宙 そのひろがりをしろう』

加古里子ぶん・え 福音館書店

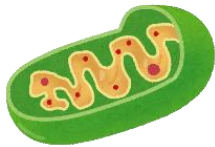
巨大な宇宙のひろがりテーマに、星の進化とその一生や宇宙
観測の歴史を紹介します。

『月の満ちかけ絵本』大枝史郎文 佐藤みき絵

あすなろ書房

夜空の月は日によって形が違って見えるのは？ひとめぐり29日
半の月の満ちかけの変化をたどります。

自然と人間



『いのちのひろがり』中村桂子文 松岡達英絵 福音館書店
38 億年にうまれた一つの細胞から現在までに生み出された「いのち」の歴史をたどります。

『せいめいのれきし 改訂版』
バージニア・リー・バートン作 岩波書店
地球上で生命が誕生したときから現代までの生命の歴史を芝居の形で描く壮大な科学絵本です。

『ダーウィンの「種の起源」』
サビーナ・ラデヴァ作 岩波書店
「ある生きものが絶滅して、ある生きものが生き残るのはなぜか」など、生命の「なぜ」を解説します。

『すごいぞ！進化』 アンナ・クレイボーン文
ウェスリー・ロビンス絵 NHK 出版
38 億年もの間に生命はどのように進化し、分かれていったのでしょうか。その流れを絵で紹介します。

『うみのほん たべものリレー』
まつざわせいじ文 ともながたろ絵 文化出版局
海の中ではたくさんの生き物が食べたり食べられたりしています。海の生態系を知ることができる絵本です。